

改善箇所説明図



プロペラシャフトにおいて、部品製造管理が不適切なため、後輪へ動力を伝達する等速自在継手（CV ジョイント）のグリースが注入されていないものがある。そのため、潤滑不足により内部が損傷し、走行中に異音や振動が発生することがある。最悪の場合、走行不能に至るおそれがある。

改善の内容

全車両、等速自在継手のグリース量を点検し、必要に応じてプロペラシャフトを良品と交換する。

識別

作業完了車は、運転者席側ドアロアヒンジ取り付けボルト（上側）の頭に白ペンを塗布する。

注： は処置をする部品を示す。